

平成29年度 教育部長の目標宣言 達成状況報告

教育部長 谷亀 博久

NO.	取組名 (担当課名)	取組内容	達成目標	取組結果 今後の取組の方向性	目標達成状況
1	次期教育振興基本計画の策定 (教育総務課)	・現在の教育振興基本計画の点検評価を行い、第5次総合計画後期基本計画と整合を図りつつ、次期教育振興基本計画を策定します。	・次期教育振興基本計画の策定	・第1期教育振興基本計画の評価を活かし、国の新たな教育の方向性や教育を取り巻く環境、社会的要因等を踏まえ、第2期教育振興基本計画を作成しました。 [今後の取組の方向性] ・第2期教育振興基本計画の進捗状況を管理するとともに、適切な評価を実施し改善に取り組むなど、PDCAサイクルによる事業運営に努めます。	・伊勢原市第2期教育振興基本計画の策定 ◇基本理念 人がつながり 未来を拓く 学びあうまち伊勢原 ◇計画期間 平成30年度～平成34年度
2	日本遺産認定を生かした地域活性化事業 (歴史文化担当)	・日本遺産協議会と連携し、広く日本遺産認定を周知するとともに、歴史文化基本構想に基づき、地域の文化財の保護・活用と適切な継承を図りながら、地域活性化と魅力あるまちづくりを推進します。	・日本遺産協議会への支援と日本遺産の認定を生かした事業の展開	・観光部門と連携し、日本遺産協議会が実施する事業への支援を行い、日本遺産認定を広く国内外に周知し、地域の活性化に取り組みました。 ・歴史文化基本構想を活用した観光拠点づくりに対する新たな補助金の採択を受け、地域の団体と連携し文化財の保護・活用を図りました。 [今後の取組の方向性] ・引き続き地域の文化財を保護・活用し、地域の活性化を図ります。	・日本遺産協議会が実施する「宿坊調査」や「文化財解説板の設置」などの事業に対する支援の実施
3	生涯学習活動の推進 (社会教育課)	・市民が生涯学習活動に参加しやすいよう団体や事業の情報をわかりやすく提供します。また、生涯学習を推進するリーダーの養成や活動団体を活用した、学びあいや学びを活かす取り組みを展開します。 ・大田公民館と大田ふれあいセンターの統合や受益者負担について、市民や利用者の意見を聞きながら検討を進めます。	・学習情報提供やホームページの充実 ・学習成果を地域へ活かす取り組みの推進	・生涯学習活動を活発にするため、ホームページの充実や活動団体の情報を集めたサポートブックを更新し、学習情報の提供に努めました。 ・大田公民館と大田ふれあいセンターの統合や受益者負担について、市民や利用者への説明会を開催しました。 [今後の取組の方向性] 生涯学習活動を行う団体や事業の情報をわかりやすく提供するとともに学習成果を地域へ活かす取り組みを進め、学びあうまちの実現を目指します。	・ホームページの充実 ・生涯学習を推進するリーダーの養成数 3名 ・活動団体が公民館と連携し、学習成果を活かした市民対象の事業等の実施数 4団体
4	図書館・子ども科学館事業の充実 (図書館・子ども科学館)	・子どもの読書活動の普及を図るため「次期子ども読書活動推進指針」の策定を進めるとともに、伊勢原ゆかりの図書や児童書のコーナーを広く周知し、市民の読書活動を推進します。 ・子ども科学館支援会員同士の連携を強化し、協力体制を充実させ、各種事業を展開します。 ・図書館・子ども科学館と近隣施設との機能統合について、関係課等と協議を重ね検討を進めます。	・図書館利用登録者数及び貸出冊数の増加 ・科学館支援会員の活動時間 300時間	・第2次子ども読書活動推進指針を策定しました。 ・伊勢原ゆかりの図書や児童書のコーナーを広く周知し、また、ボランティア団体と連携して事業を推進し、市民の読書活動の普及に努めました。 ・子ども科学館支援会員の協力を得て各種事業を展開しました。 [今後の取組の方向性] ・図書館ボランティアや科学館支援会員と連携した各種事業を展開し市民の学習活動を支援していきます。	・図書館利用登録者数 H28 27,846名 ⇒H29 24,390名 ・貸出冊数 H28 503,196冊 ⇒H29 509,036冊 ・科学館支援会員の活動時間数 675時間